

北病院

耳より情報



「最後の一口まで食べる 楽しみを支える看護」を 目指して ～認定看護師②

食嚥下障害看護認定看護師
北病院病棟看護師
永井 浩美



今回は「摂食嚥下障害」についてお話したいと思います。「摂食嚥下」とは、聞きなれ

ない言葉ですが食べ物を認識して口に入れることから、咀嚼（そしゃく：歯で噛み砕くこと）して飲み込み、胃に至るまでの一連の動きを言います。この機能が様々な原因でおかされることを「摂食嚥下障害」と言います。「摂食嚥下障害」は食べ物などがうまく飲み込めないことから、窒息や誤嚥性肺炎（ごえんせいはいえん：食べ物や唾液が上手く飲み込めず、誤って肺に送られ肺炎になること）の原因になったり、栄養や水分を上手く摂れないことで、低栄養や脱水になったりすることがあります。

私たちは「最後の一口まで食べる楽しみを支える看護」を目指し、食事の形態や硬さを工夫したり、機能改善のリハビリテーションなど、様々な取り組みを行っています。